

# 祝・下水道事業100周年

下水道事業着手から100年を迎えて

長岡市土木部長 谷畑 哲也

本市の下水道事業は、大正13年1月に長岡駅を中心とする238haについて事業着手し、本年をもちまして100年を迎えました。これまでに平成16年7月新潟・福島豪雨、新潟県中越地震をはじめとした幾多の災害に見舞われたことから、排水ポンプ場等の整備や下水道施設の耐震化を進め、また、衛生的で快適な生活環境を提供するために下水道整備や施設の更新を進めてきたところです。

昨今の災害により、市民生活に下水道が重要なライフラインであるとの認識を新たにし、今後の100年に向けて、災害に強いまちづくりや持続可能な下水道事業の運営に努めてまいります。



長岡市下水道事業  
100周年記念ロゴマーク

がおか花火館や、発酵・醸造のまち撰田屋・宮内地区などの観光資源を活かした広域観光の推進と効果的な魅力発信により、観光・交流人口の拡大を図り、地域経済の活性化につなげてまいります。

長岡花火などの観光資源を活かしたまちづくり



長岡市長 磯田 達伸

今年の中越大地震と7・13水害から20年目の節目の年です。8月2日、3日に開催する長岡

まつり大花火大会では、犠牲になられた方々への慰霊、全国からの支援への感謝、そして能登半島地震における犠牲者の皆様への慰霊と被災地復興の願いを込め、長岡花火を打ち上げます。

また、今年の「復興祈願花火フェニックス」は、「能登応援特別パージョン」で打ち上げ、能登をはじめとした多くの方に勇気と活力をお届けしたいと考えております。

長岡まつり大花火大会は、日本三大花火大会の一つに数えられ、国内だけでなく世界からも多くの人が訪れる一大イベントとなりました。今後も大花火大会をはじめ、道の駅な

